

PRESS RELEASE

2025年10月24日

遠隔起動制御技術で未来を拓くGlobal Mobility Service株式会社

ジャパンモビリティショー2025に出展！
—遠隔起動制御技術をブースで体感！—



車両の安全な遠隔起動制御システムを活用したプラットフォームサービスを、世界に展開する日本発のスタートアップGlobal Mobility Service株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 CEO:中島 徳至 以下「GMS」)は、

2025年10月29日(水)より東京ビッグサイトで12日間開催される「ジャパンモビリティショー2025」に出展いたします。会期中、GMSは12日間にわたりブースを出展し、3つの社会課題解決型デモンストレーションを通じて、来場者の皆様に遠隔起動制御技術を体感いただけます。

・ジャパンモビリティショー2025: <https://www.japan-mobility-show.com/>

・ジャパンモビリティショー公式アプリ:

<https://apps.apple.com/jp/app/%E6%8E%A8%E3%81%97%E3%83%A2%E3%83%93%E5%9B%B3%E9%91%91/id6466403127>

出展概要

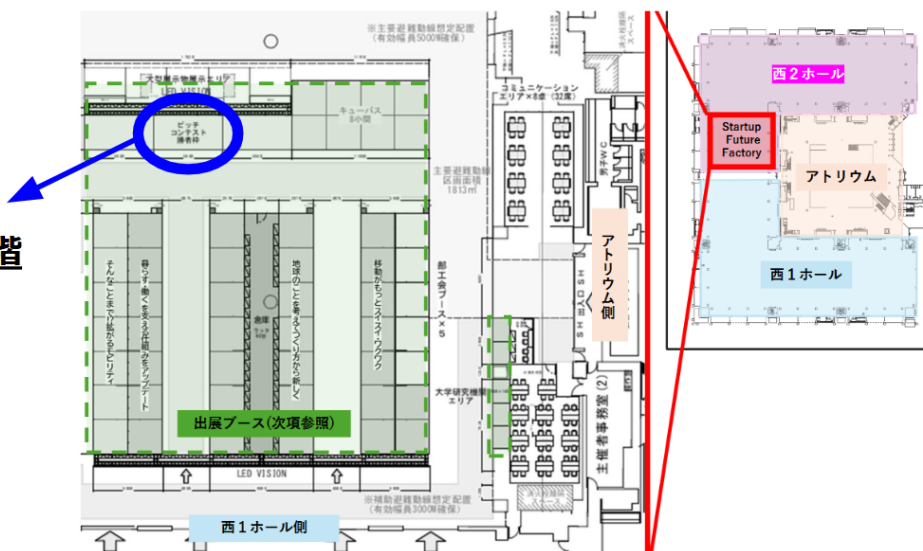
展示会名: ジャパンモビリティショー2025 Startup Future Factory

会期: 2025年10月29日(水)～11月9日(日) ※時間は日によって変動します

会場: 東京ビッグサイト(〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1)

出展場所:

西2ホール 1階 ピッチー2



出展内容

当社ブースでは、遠隔起動制御IoTデバイス「MCCS」とデータ分析プラットフォーム「MSPF」を活用したデモンストレーションを通じ、金融包摂型FinTechサービス、飲酒運転防止サービス、車両盗難防止サービスの3事業における取り組みをご紹介します。

■ 金融包摂型FinTechサービス

世界には14億人以上が銀行口座を持たず、金融サービスを受けられない現実があります。シングルペアレントや外国人労働者など、過去の信用実績がないだけで排除され、“頑張っても這い上がれない”という構造的な不平等に苦しんでいます。「MCCS」と「MSPF」を活用し、車両の稼働データをもとに働きぶりを信用に変えて、価値化する新しい与信モデルを創出しています。この仕組みにより、これまで融資が困難だった低与信層の方々にも、テクノロジーを通じて正しく評価される社会を実現します。

■ 飲酒運転防止サービス

2021年の千葉県八街市での児童死傷事故をきっかけに、道路交通法が改正され、アルコール検査の義務化が進みました。しかし、現行制度上はアルコールが検知されても、最終的には運転者の意思で運転できてしまい、人的判断に依存しているのが現状です。GMSは、トヨタグループの主要部品サプライヤーである株式会社東海理化と共同で、社用車管理システム「Bqey(ビーキー)」に新たにアルコール・インターロック機能を開発しました。アルコールが検知された場合には、エンジンを自動的に起動不可とし、飲んだらエンジンがかからない仕組みで社会の常識に変えます。

■ 車両盗難防止サービス

2024年度の車両盗難認知件数は、年間およそ7000件にのぼります。単なる盗難件数の増加だけでなく、車両盗難の手口は年々高度化・巧妙化しています。こうした犯罪に対し、遠隔起動制御技術を活用した通信型カーセキュリティ「Smart Blocker」を開発しました。スマートフォンアプリからセキュリティON/OFFや位置特定が可能で、万が一盗難に遭っても、リアルタイムで愛車を守ることができます。盗ませない、取り戻せる、安心して乗れる、新たなセキュリティの形を提供します。

「MCCS」から取得した車両データを「MSPF」上で可視化・価値化し、世界中でモビリティとつながる最先端IoTデバイスとプラットフォームの可能性を体感いただけます。

ご来場の方へ

GMSブースでは「見る・触れる・体験できる」デモンストレーションを通じて、テクノロジー×サービスの融合による社会課題解決の最前線をご紹介します。遠隔起動制御技術やデータ連携による仕組みを通じて「モビリティサービスの提供を通じ、多くの人を幸せにする」という理念を体現しています。誰ひとり取り残さない社会の実現に向けた、私たちの挑戦をぜひ会場でご覧ください。パートナーの皆様とともに、取り組みを広く展開してまいりたいと考えておりますので、当社の事業や取り組みにご関心をお持ちの皆様は、ぜひGMSブースへ立ち寄りください。当日は撮影・取材等も歓迎しております。

皆様のご来場を心よりお待ちしております！

Global Mobility Service株式会社 概要

GMSは車両の遠隔起動制御システムを活用したサービスを提供する、グローバルスタートアップ企業です。日本国内及び ASEAN 諸国(フィリピン/カンボジア/インドネシア)において、まじめに働く低与信層の方々の就業機会を創出する金融包摂型FinTechサービスや、巧妙化する車両盗難を最新の技術で防止するサービス、「飲んだら乗れない」社会をつくる飲酒運転防止サービスなどを展開しております。弊社サービス利用車両の総走行距離は、2025年8月時点で13億kmを突破し、各分野において、世界に大きなインパクトを与えております。また、2020年には1年間で3度の経済産業大臣賞を受賞、2023年には経済産業省よりJ-startup ImpactIに選定されるなど、高い評価をいただいております。

当社の事業概要につきましては、下記動画をご参照ください。

<https://youtu.be/S9fXklbwYEY>



会社名: Global Mobility Service株式会社

代表者: 代表取締役社長CEO 中島 徳至

所在地: 東京都千代田区神田紺屋町15 グランファースト4F

設立日: 2013年11月25日

資本金: 24億2,611万円(資本準備金含む/2025年3月31日時点)

URL: <https://www.global-mobility-service.com/>

事業内容:

車両遠隔起動制御IoTデバイス「MCCS®」、データ分析プラットフォーム「MSPF®(モビリティサービスプラットフォーム)」を活用した金融包摂型FinTechサービス、盗難防止システム、飲酒運転防止技術、およびデータの二次活用サービスの提供

®登録商標 GMS、MCCS、MSPFはGMSの登録商標です。

<報道関係者様からのお問合せ>

Global Mobility Service 株式会社 広報グループ

電話番号: 03-6264-3113

E-mail: press@global-mobility-service.com